

りんりんふえす山谷

主催 「りんりんふえす」山谷開催実行委員会
日程 令和6年3月3日(日)
会場 台東区立玉姫公園(清川2-13-18)

青山・梅窓院で10回続く音楽フェスである「りんりんふえす」。「りんりん」には、“隣”の人と“輪”になるというメッセージが込められています。貧困問題を多くの人と考え、音楽を通じて多様な人々がともに楽しみ、互いを感じ合う場の創出を目指し開催されました。

概要

会期 令和6年3月3日(日)
会場 台東区立玉姫公園

【ステージプログラム】

- アーティスト5組によるパフォーマンス
寺尾紗穂(ピアノ弾き語り)、新人Hソケリッサ!(ダンス)、
三輪二郎(ギター弾き語り)、池間由布子(ギター弾き語り)、
川村亘平斎(影絵・音楽)

・座談会

テーマ:東京を支えてきた街“山谷”を知っていますか?

出演:寺尾紗穂(シンガーソングライター、エッセイスト)

吉水岳彦(山谷光照院住職・社会慈業委員会ひとさじの会事務局長)

稲葉剛(つくろい東京ファンド代表理事・ビッグイシュー基金共同代表)

油井和徳(NPO法人山友会副代表)

山下眞実子(NPO法人訪問看護ステーションコスモス代表理事)

Sさん(元山谷住民・雑誌ビッグイシュー販売者)

【展示】

これまでのりんりんふえすの開催記録や山谷の歴史などを展示。



●開催の様子●

【ステージプログラム】

天気にも恵まれ、開場と同時に準備されていた100席の椅子は埋まり、立ち見の方も多くいました。

第1部では、りんりんふえすの発起人であるシンガーソングライターで文筆家の寺尾紗穂氏のピアノ弾き語り、「新人H!ソケリッサ!」のパフォーマンス、三輪二郎氏のギター弾き語りが行われました。



今回初めて設けた「カラオケタイム」では、協力団体から推薦を受けた山谷住民の方や、飛び込み参加の方などが、大きな声援や手拍子を受けながら熱唱をしていました。



第2部では、池間由布子氏のギターの弾き語りの後、影絵師・音楽家の川村亘平斎氏による影絵芝居が披露されました。

日が暮れはじめ、寒さが厳しくなるなかでも、たくさんの方が最後までステージを楽しんでいました。

【座談会】

「東京を支えてきた街“山谷”を知っていますか？」というテーマで、山谷光照院住職の吉水氏がモデレーターとなり、登壇者それぞれの立場から山谷という地域について語られました。

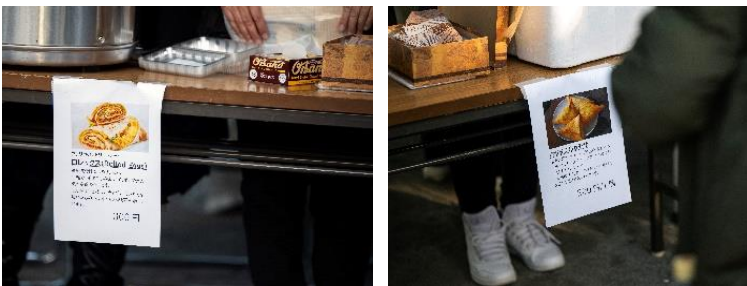


【展示】

会場展示では、これまで開催した「りんりんふえす」のポスターや参加アーティストの紹介、山谷地域の歴史をまとめた展示などが行われました。

【物販】

物販エリアでは、在日ベトナム仏教「随縁禅室」による揚げ春巻きとベトナムコーヒーの無料配布が行われたほか、地域団体や関連団体による物販も安めに設定され、多くの方が交流をしながら楽しむ様子が見られました。



撮影：横関一浩